

保護者・地域・関係機関の皆様へ

中央区立豊海小学校
校長 村上 隆史

令和元年度 学校評価 保護者アンケート集計結果と今後の取り組みについて

過日ご協力いただきました学校評価アンケートについて、以下のように結果をお知らせします。今後の教育活動に生かしてまいります。ありがとうございました。凡例は以下のようになります。

A…よくあてはまる B…あてはまる C…あまりあてはまらない D…あてはまらない ※…よくわからない

1 重点目標の評価

重点目標1	目標	基礎的・基本的な学習内容の理解と確かな学力の定着。				
	評価項目	(1) 習熟度別や課題別など個に応じた授業展開の工夫。 (2) 集中力や持続力を発揮して学習に取り組む力の育成。				
	評価指標 (成果及び取組の状況)	A	B	C	D	※
	(1) お子様は、基礎的・基本的な学力を身に付け、「分かった」「できた」という達成感を得ることができている。	49.3	45.4	4.5	0.6	0.2
	(2) お子様は、学習規律を守って、自らすすんで学習に取り組んでいる。	43.0	47.1	8.8	0.4	0.7
重点目標2	目標	自他の生命を尊重する態度の育成。				
	評価項目	(1) 個を尊重し、多様な価値観を受け入れる心の醸成。 (2) 他者と協力して取り組もうとする力の育成。				
	評価指標 (成果及び取組の状況)	A	B	C	D	※
	(1) お子様は、学習や生活場面において、自分とは考えの異なる友達の意見を受け入れ、問題の解決を図ることができている。	35.2	53.9	6.9	0.2	3.8
	(2) お子様は、学級活動や児童会活動、学校行事などの場面では、同級生だけでなく、異年齢の児童とも協力して取り組もうとしている。	42.8	47.1	5.3	0.5	4.3

重点目標3	目標	オリンピック・パラリンピック教育を通じた国際感覚の醸成と体力の向上。				
	評価項目	(1) ブラジルとの交流、世界各国についての学習を通じた豊かな国際交流の醸成。 (2) 体育の時間や休み時間等における運動に取り組める環境の整備。				
	評価指標 (成果及び取組の状況)	A	B	C	D	※
	(1) お子様は、外国と日本の文化や習慣の違いについて理解を深めることができている。	34.1	48.2	11.4	0.2	6.1
	(2) お子様は、マイスクールスポーツ (縄跳び・持久走) や運動に自ら積極的に取り組むことができている。	38.4	46.6	11.4	1.7	1.9

2 全体の評価

4…よくあてはまる 3…あてはまる 2…あまりあてはまらない 1…あてはまらない ※…よくわからない

	項 目	4	3	2	1	※
設問 1	学校は学習内容が分かりやすく楽しい授業をしている。	44.1	50.8	4.2	0	0.9
設問 2	学校は児童に基礎学力が身に付くように教えている。	47.0	48.7	3.0	0.2	1.1
設問 3	学校は通知表等を通して児童の学力を適切に評価している。	43.2	51.3	3.4	0.2	1.9
設問 4	学校は児童の努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。	53.5	42.1	3.2	0.2	1.0
設問 5	学校は今年度の教育方針を分かりやすく伝えている。	53.7	39.5	4.9	0.2	1.7
設問 6	学校は児童の健康・体力の増進に努めている。	43.2	50.4	3.8	0.4	2.2
設問 7	学校は道徳教育に力をそそぎ、児童に思いやりの心や規範意識を育てている。	43.6	48.9	5.5	0.2	1.8
設問 8	学校はボランティア活動や清掃活動などの様々な奉仕活動を行っている。	28.9	52.2	10.4	0.7	7.8
設問 9	学校は教育活動において人権を尊重する姿勢で子どもの指導にあたっている。	36.5	54.1	5.3	0.2	3.9
設問 10	学校は児童の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている。	40.0	48.9	6.6	0.9	3.6
設問 11	学校は保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している。	44.3	47.7	6.2	0.2	1.6
設問 12	学校は保護者や地域の人々が積極的に教育活動にかかわれるようにしている。	32.6	56.7	7.1	0	3.6
設問 13	学校は児童の安全確保や安全対策に様々な配慮をしている。	38.5	54.3	4.3	0.2	2.7
設問 14	学校は行事や学校公開などを通して児童の学習の様子や生活が分かるようにしている。	54.1	41.4	3.4	0.2	0.9
設問 15	学校は保護者に出す文章や連絡等は、分かりやすく内容も適切である。	46.1	45.9	5.9	1.1	1.0
設問 16	学校はコンピュータや図書室を十分活用している。	27.0	48.7	12.0	1.9	10.4
設問 17	学校は地域を生かした教育活動や行事がある。	30.9	54.0	8.9	0.5	5.7
設問 18	学校は、楽しく英語に慣れ親しむ英語学習を行っている。	23.6	59.0	12.1	1.0	4.3

3 考察

全体の傾向として

今年度の保護者アンケートの回収率は約60%でした。昨年度と比べ、10%回収率が高くなりました。近年、アンケート回収率の低下が本校の課題でした。この課題を解決するにあたって、実施時期を早め、回収までの期間に余裕をもたせたり、匿名による提出も選択できるようにしたりする改善の成果だと捉えています。今後も、回収率を高め、より多くの方のご意見を教育活動に生かしてまいります。

保護者アンケートの全体の傾向としては、全ての項目において「よくあてはまる」、「あてはまる」の肯定・肯定的評価が80%~90%以上占め、「よくわからない」と回答された方が少数でした。日頃より学校公開・学校行事等で学校の教育活動について関心を持ち、ご理解いただいた結果であると考えています。一方で、肯定的評価の中でも「よくあてはまる」の割合が平均40%であり、「あてはまる」の割合の方が高い傾向にあります。今後は、「よくあてはまる」割合が50%以上を占めるよう、教育活動を展開してまいります。

重点目標1「基礎的・基本的な学習内容の理解と確かな学力の定着」

肯定・肯定的な評価が9割を超えました。設問「お子様は、基礎的・基本的な学力を身に付け、「わかった」「できた」という達成感を得ることができている。」では、保護者アンケートでは約90%、児童アンケートでは、約95%の児童が日々の学習において達成感を得ることができていると答えています。各教科において児童にとって必然性があり、主体的に学ぶことができるよう指導法を改善してまいります。また、全ての教科の土台となる国語科や習熟に差がやすい算数科を中心に、休み時間や放課後などに個別指導や補習教室を実施し、算数科では3年生以上において習熟別でグループを編成して個々の能力に応じた指導をこれからも継続して行います。

設問「お子様は、学習規律を守って、自らすすんで学習に取り組んでいる。」については、保護者、児童共に約90%が学習規律を守って、自らすすんで学習に取り組んでいると答えています。これから将来の社会で求められるのは、知識だけでも思考力だけでもなく、知識を活用して自分の頭で考え、解決できる力であるとされています。今までになかったような新しい課題を発見し、解決に向けて行動できるようになるためには、他者と協働的に学ぶことも欠かせません。学校では、自分の考えを積極的に外に発信できることはもちろん、他者の考えと自分の考えを比較・関連付けながら学習に取り組むことができる児童を増やしていかなければならないと考えております。新学習指導要領で示された「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改革に取り組んでまいります。

一方で、児童アンケートの設問7「豊海スタンダードをよく読み、学校の約束を守っていますか。」については、授業中の学習規律に関するアンケートに比べ、肯定的な回答が約81%と低い数値となりました。学習については関心も高く、意識している児童が多いようですが、学校生活についてはどの学年においても自信をもって守っていると言えない状況にあります。学校は、学力を身に付けるだけでなく、基本的な生活習慣、社会生活上のきまりを身に付け、善悪を判断し、規範意識等も身に付けていく場です。今後も道德教育や特別活動を中心に、指導を進めるとともに、全教職員が共通理解の下、指導にあたります。

重点目標2「自他の生命を尊重する態度の育成」

設問「お子様は、学習や生活場面において、自分とは考えの異なる友達の意見を受け入れ、問題の解決を図ることができている。」については、保護者アンケートでは約90%、児童アンケートでは約98%で肯定的な回答が得られました。各教科において行った自分の考えだけでは解決できず、協働的に学ぶ必要のある学習活動や道德授業地区公開講座、人権標語、国際交流活動などの人権意識を醸成させる活動などが効果的だったと捉えています。今後も児童の実態や発達段階に応じて、生活習慣・文化・性(LGBT)・価値観などの多様性や人権について学ぶ活動を取り入れていきます。

設問「お子様は、学級活動や児童会活動、学校行事などの場面では、同級生だけでなく、異年齢の児童とも協力

して取り組もうとしている。」についても、保護者アンケートでは約90%、児童アンケートでは約98%で肯定的な回答が得られました。これと関連して、保護者、児童アンケートの自由記述欄に縦割り班活動の復活についての要望が数件ありました。本校の規模やオリンピック・パラリンピック教育、プログラミング教育など様々な教育が取り入れられている現状から、縦割り班活動を復活させることは厳しいと判断します。しかしながら、異年齢の交流活動は、子どもたちの社会性を育む上で教育的な効果が高いと考えています。そこで、次年度は、兄弟学級を設定し、特別活動や掃除等で異年齢による交流活動ができないか検討を進めています。

重点目標3「オリンピック・パラリンピック教育を通じた国際感覚の醸成と体力の向上」

設問「お子様は、外国と日本の文化や習慣の違いについて理解を深めることができている。」については、保護者アンケートでは約82%、児童アンケートでは約94%が肯定・肯定的に評価していました。オリンピック・パラリンピック教育の一環で行われた外国の方との交流、また、今年度より始まった児童の有志によるブラジル宣伝隊の活動など、様々な場面で行われた学習活動の成果だと考えています。次年度はいよいよオリンピック・パラリンピックが開催される年です。この機会を生かして、児童の豊かな国際感覚の醸成を図ってまいります。

設問「お子様は、マイスクールスポーツ（縄跳び・持久走）や運動に自ら積極的に取り組むことができている。」については、保護者アンケートでは約85%、児童アンケートでは約94%が肯定・肯定的に捉えています。一方で、児童アンケートの設問3「自分の体力づくりに取り組んでいますか。」における肯定的な回答は約82%であり、マイスクールスポーツに関するアンケートに比べて12%下がっていました。この結果と、体育科で取り組んでいる各単元における学習カードから、児童はめあてをもって運動に取り組んでいるものの、日常的な運動に取り組む習慣に必ずしも結び付いてはいないということがいえます。改善策としては、マイスクールスポーツを縄跳びに絞り、休み時間や体育科の準備運動として取り入れていくなど年間を通じて取り組むとともに、体育科の学習では、児童一人一人が達成感や充実感を味わえるよう指導を充実させて、体力の向上を図ってまいります。

全体の評価について

今年度も、全ての評価項目で肯定・肯定的な評価が8割を超え、9割を超えた肯定・肯定的な評価いただく項目もありました。今後もこの評価に満足することなく、改善してよりよい教育活動を展開してまいります。

設問16「学校はコンピュータや図書室を十分活用している。」については、約14%の方から十分ではないとのご指摘がありました。学校のICT環境は充実しているとはいえません。ICT環境の充実を区に働きかけつつ、効果的と思われる学習について積極的にパソコンや図書室を活用してまいります。

設問18「学校は、楽しく英語に慣れ親しむ英語学習を行っている。」については、約13%の方から十分ではないとのご指摘がありました。今年度より、第3学年以上の学年において英語専科教員を中心に授業を展開しています。自由記述の中に、もっと高度な内容を求める意見もありました。指導内容については、学習指導要領に基づき、本校では生きて働く英語力を身に付けさせることを目標に、体験的な学習を重視して指導を進めています。

設問8「学校はボランティア活動や清掃活動など様々な奉仕活動を行っている。」については、約11%の方から十分ではないとのご指摘がありました。ボランティア活動は他者への思いやりの心や、故郷である勝どき・豊海への愛情を育む上で重要な学習です。校内でのボランティア活動の場を設けたり、地域清掃を学年毎に日を変えて実施したりするなど、限られた時間の中で効果的な活動はないか検討してまいります。

終わりに

学校評価は、これからの教育活動をよりよくするための大切な情報であると捉えています。学習面、生活面の双方から児童一人一人の声に耳を傾け、学ぶ意欲を高めていけるよう、職員一同、努力してまいります。